

Better Health, Brighter Future



個人投資家向け会社説明会

# 2013年度を起点とした中期成長戦略

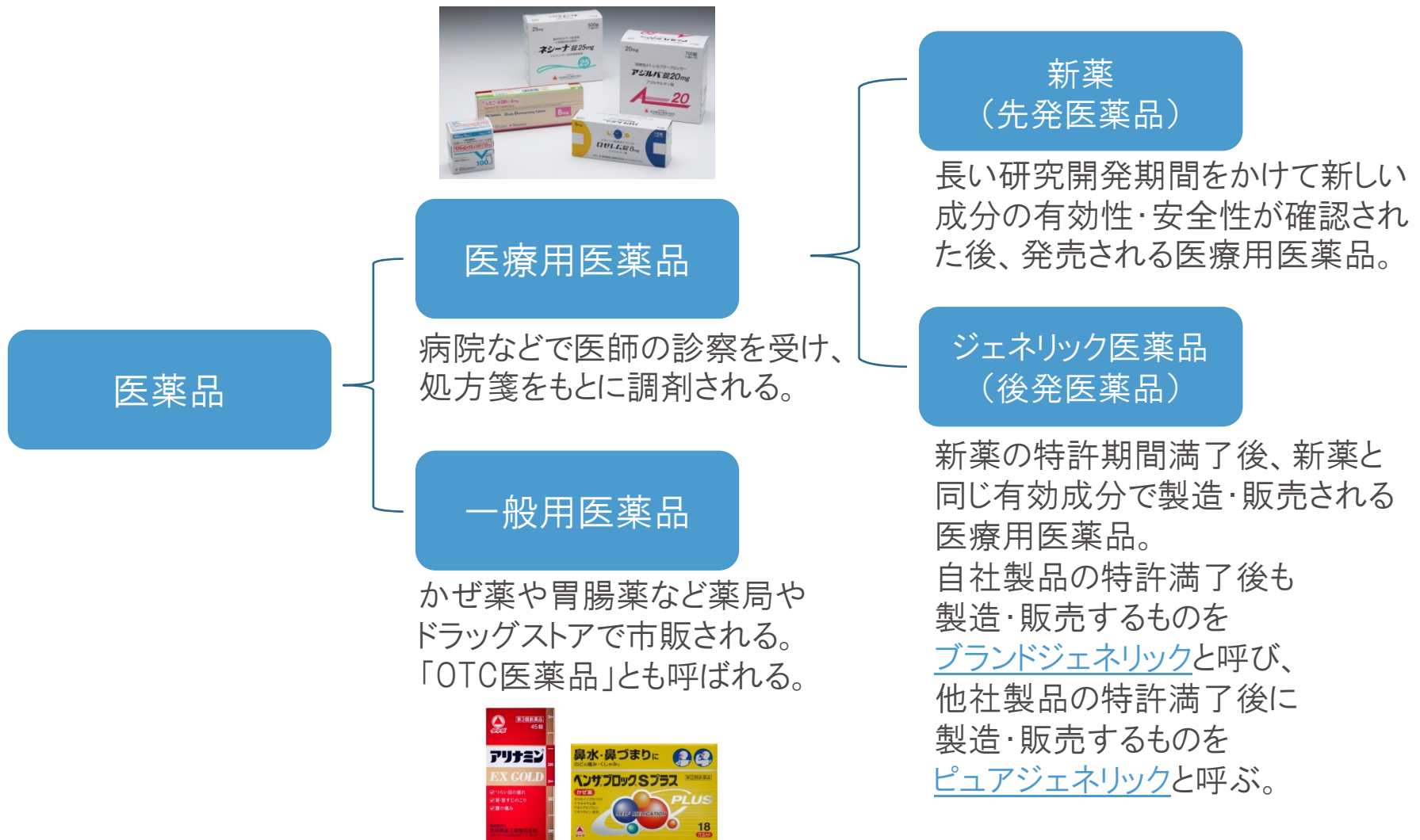
武田薬品工業株式会社(証券コード:4502)  
コーポレート・コミュニケーション部  
2013年11月

武田薬品工業株式会社



- 医薬品業界の特徴
- 当社の現状
- 当社の中期成長戦略

# くすりの種類





## 魅力

患者さんの生命・健康の維持、  
回復、生活の質の向上に貢献

高齢化社会への進展などによる市場拡大

付加価値の高い革新的な  
新薬の上市による高い利益成長

## リスク

先進国における薬剤費抑制策  
強化に伴う新薬市場の  
成長率鈍化

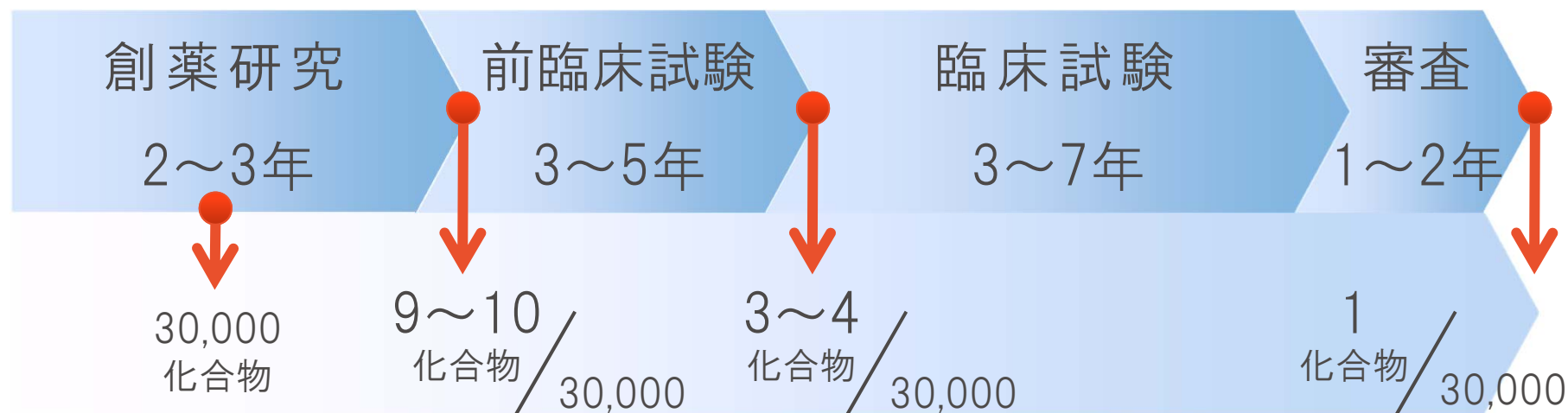
米国における特許期間満了に  
伴う急激な売上減少

研究開発における  
低い成功確率

# 新薬の研究開発（創薬から発売までの道のり）



## 長い研究開発期間と膨大な研究開発費

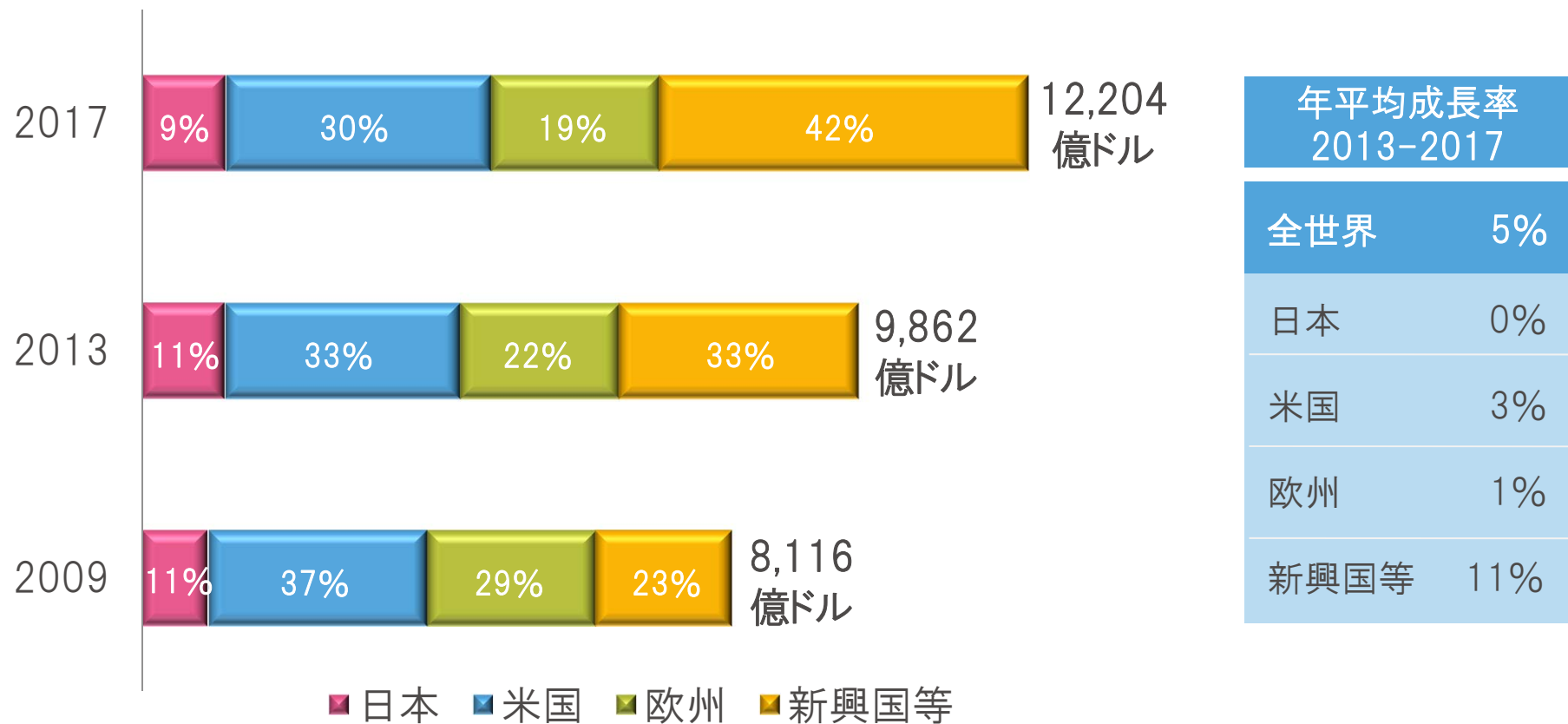


出典：日本製薬工業協会

# 世界の医薬品市場の推移



世界市場は年平均5%で成長  
 新興国を中心とする市場が成長を牽引、世界市場の約4割を占めるまでに

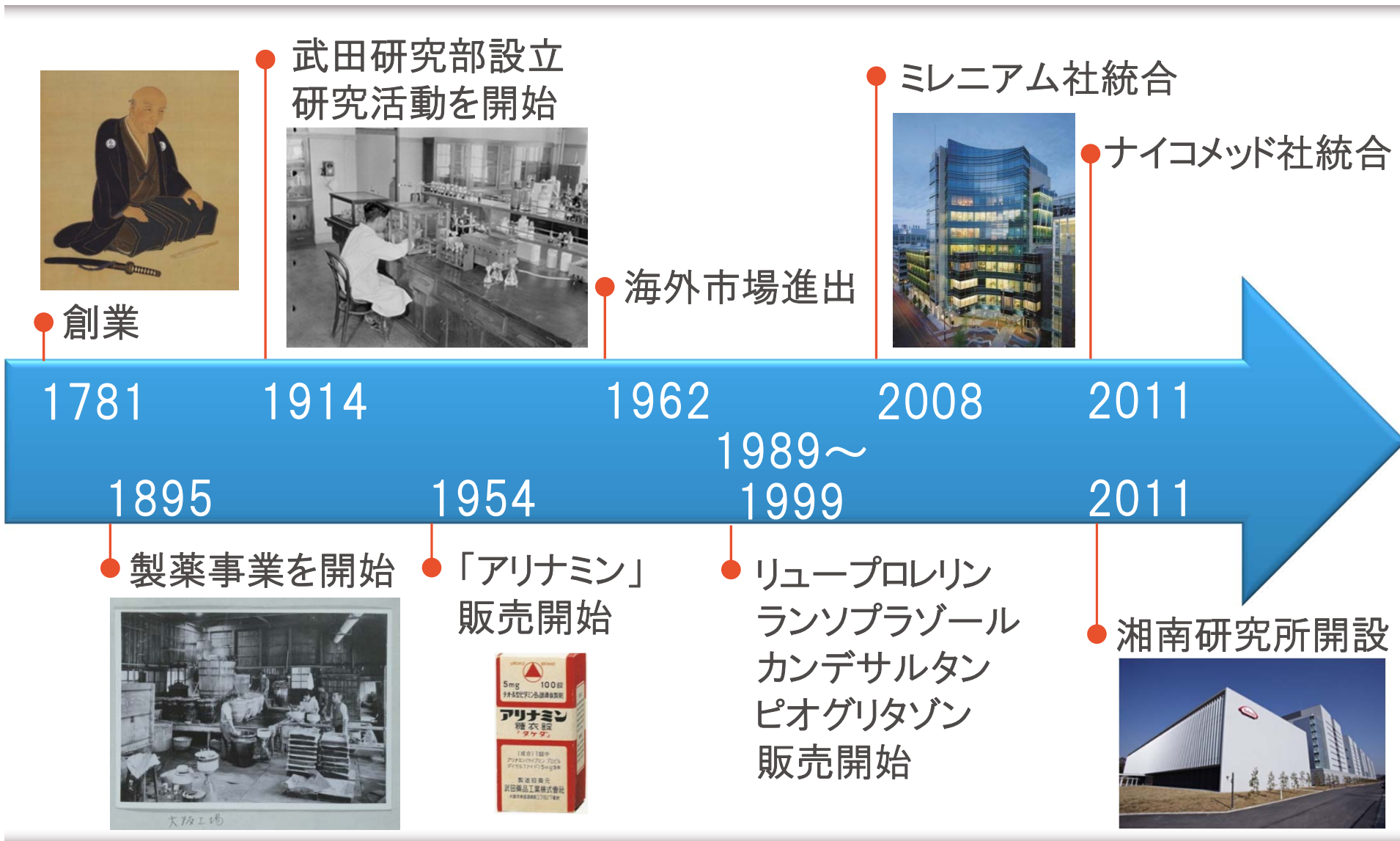


©2013IMSヘルス「Market Prognosis Global 2010-2014」および「Market Prognosis Global 2013-2017」をもとに作成 無断転載禁止



- 医薬品業界の特徴
- **当社の現状**
- 当社の中期成長戦略

# 事業の変遷(タケダの歴史)





# 癌領域と新興国事業の強化



## ミレニアム社の買収・統合 — 癌領域の強化





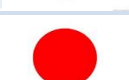
- 2008年5月（買収金額:88億ドル）
- 癌領域を次世代の中核領域へ
- ベルケイドをはじめとした有望な製品・パイプラインの獲得
- 質の高い研究～開発～販売に至るフルライン機能の当社事業への高い補完性

## ナイコメッド社の買収・統合 — 新興国事業の強化

- 2011年9月（買収金額:96億ユーロ）
- 新興国市場を中心とする事業基盤の強化（進出国数は28カ国から70カ国以上に）
- ナイコメッド社の販売網を通じたタケダ製品・パイプラインの価値最大化
- 多様な人材の獲得により企業文化の変革を促進

# 世界の製薬企業 2012年売上高ランキング



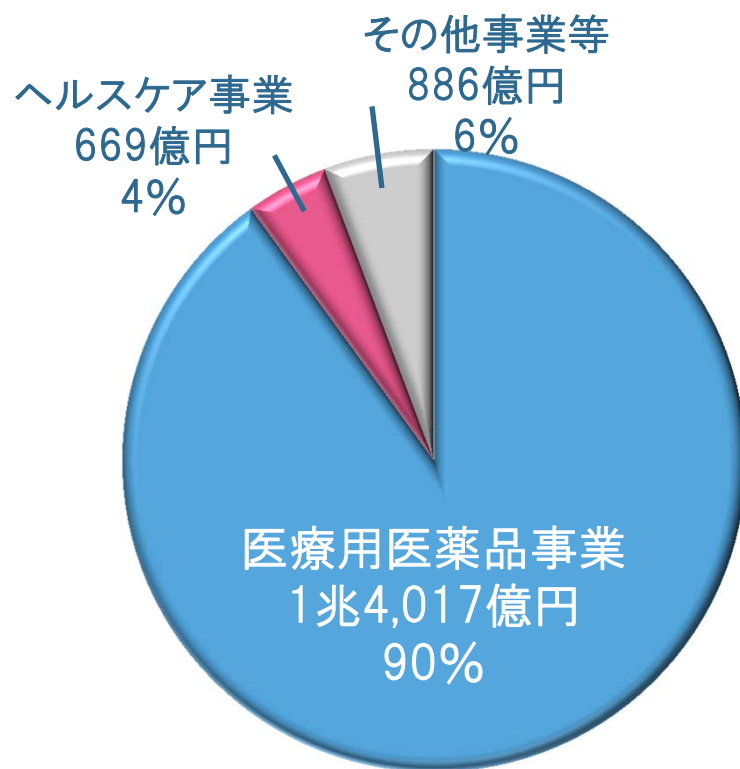
	会社名	所在国		会社名	所在国
1	NOVARTIS		11	LILLY	
2	PFIZER		12	AMGEN	
3	MERCK & CO		13	BOEHRINGER INGEL	
4	SANOFI		14	BAYER	
5	ROCHE		<b>15</b>	<b>TAKEDA</b>	
6	GLAXOSMITHKLINE		16	BRISTOL-MYERS SQB.	
7	ASTRAZENECA		17	NOVO NORDISK	
8	JOHNSON & JOHNSON		18	DAIICHI SANKYO	
9	ABBOTT		19	OTSUKA	
10	TEVA		20	MYLAN	

©2013IMSヘルス 「IMS MIDAS, December 2012」をもとに作成 無断転載禁止



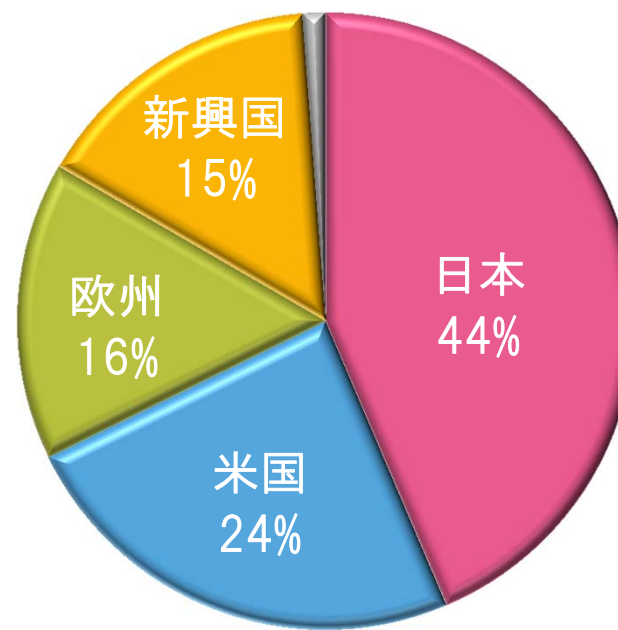
## 2012年度連結売上高 1兆5,573億円

### 【事業別売上高】



### 【医療用医薬品事業】

#### 地域別・製商品売上高



# 主力製品の全世界売上高 (1/2)



## 消化器・腎臓系・その他疾患

### 代謝性・循環器系疾患

**アクトス**  
2型糖尿病治療剤  
(1,229億円)



**ネシーナ**  
2型糖尿病治療剤  
(378億円)

**プロプレス**  
高血圧症治療剤  
(1,696億円)



**タケプロン**  
消化性潰瘍治療剤  
(1,102億円)

### 中枢神経系疾患



**レミニール**  
アルツハイマー型  
認知症治療剤  
(84億円)



**ロゼレム**  
不眠症治療剤  
(75億円)

注：( )内の数字は2012年度売上高

# 主力製品の全世界売上高 (2/2)



## 免疫・呼吸器系疾患



### ユーロリック

痛風・高尿酸血症治療剤  
(177億円)



### コルクリス

痛風・高尿酸血症治療剤  
(336億円)

### ワクチン

### (MRワクチン)タケダ

乾燥弱毒生  
麻疹風しん  
混合ワクチン



## 癌



### ベルケイド

多発性骨髄腫治療剤  
(729億円)

### リュープリン

前立腺癌・乳癌・  
子宮内膜症治療剤  
(1,165億円)



### ベクティビックス

抗癌剤  
(188億円)

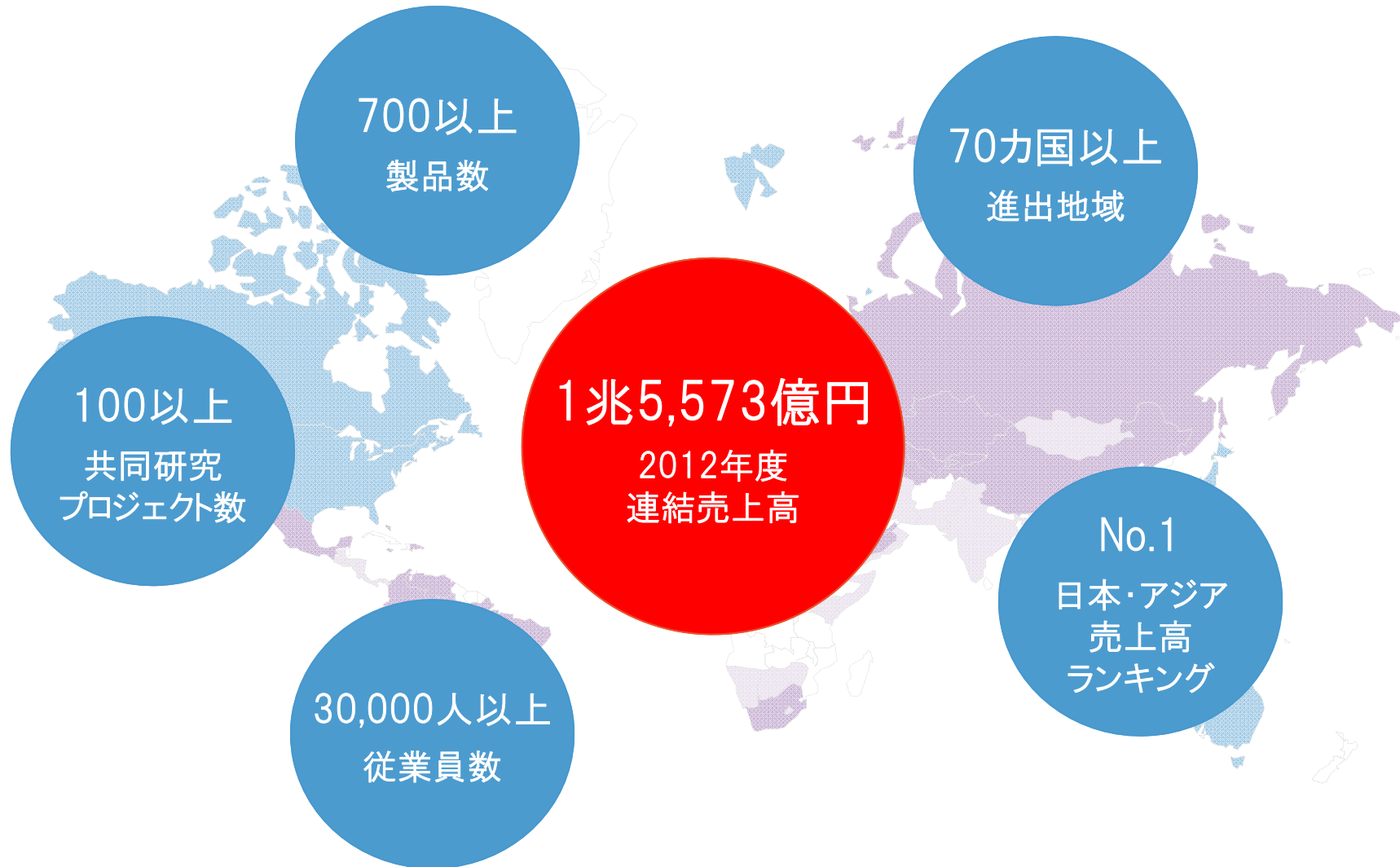
### アドセトリス

悪性リンパ腫治療剤  
2012年11月: 新発売



注: ( )内の数字は2012年度売上高

# タケダ・スナップショット





多様な医療ニーズに応えられる  
真のグローバル製薬企業への変革に挑戦

米国における糖尿病治療剤アクトスの  
特許満了後の売上回復

後期開発パイプラインの確実な上市

グローバル競争を勝ち抜く、強靱で効率的な  
オペレーティングモデルの構築

# 当社株価の推移



Takeda Pharmaceutical Company Limited

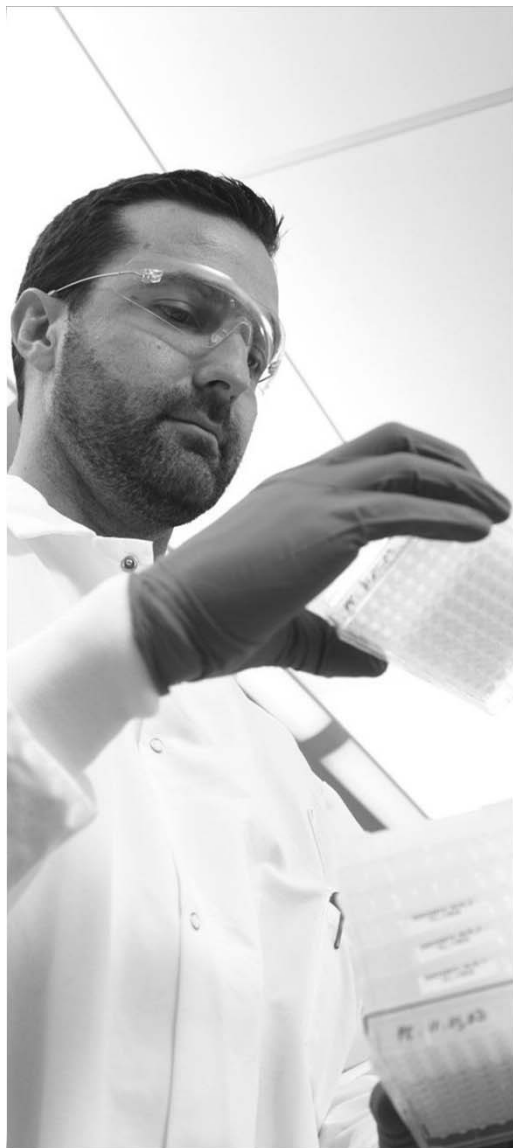
2013/11/8



(C) 2013 Yahoo Japan Corporation.

<http://stocks.finance.yahoo.co.jp>





- 医薬品業界の特徴
- 当社の現状
- **当社の中期成長戦略**

# 新しいタケダの企業ブランディング動画



この地球には70億を超える人間が暮らしている  
1分間に250人の新しい生命が誕生し  
1年間で6000万人の生命がこの世を去っていく  
いまこの瞬間もそれぞれの人が、それぞれの場所でそれぞれの今を生きている  
人生には、笑いがある 涙がある 壁がある 冒険がある 感動がある  
どんな人生にも映画や小説の名作よりはるかに素晴らしい物語が詰まっている  
生命が輝く瞬間に満ちあふれている  
人生の物語は、短いようで長く長いようで短い  
病気に苦しむ人たちに人生のかけがえのない時間を少しでも取り戻してほしい  
それは、創業から230年以上変わらないタケダの誠実な想い  
これからも世界中のより多くの人々がそれぞれの人生を豊かに過ごせるように  
医療の未来を切りひらくタケダの挑戦は終わらない

## ミッション（私たちの存在理由）



優れた医薬品の創出を通じて  
人々の健康と医療の未来に貢献する



## Better Health, Brighter Future

“病気に苦しむ患者さんに、人生のかけがえのない時間を少しでも取り戻していただきたい”創業から230年以上にわたり、タケダはその想いのもと、革新的な新薬の創出を通じて社会に貢献してきました。そしてこれからも、世界のより多くの人々がそれぞれの人生を豊かに過ごせるよう予防から治療・治癒にわたる医療の多様なニーズに応える新しい解決方法を提供していくことが私たちタケダの使命です。

“世界の国々や地域に根を下ろし、それぞれ異なる真の医療ニーズを理解する” “つねに社会に奉仕する気持ちを忘れず、緊迫感とスピード感

を持ち、どこよりも高い効率性を発揮して業界をリードする最適な答えを提供する”ダイバーシティが活きる組織の力を「Global One Takeda」として結集させ、医療の未来を変革する努力を、私たちタケダは続けていきます。

医療に対する飽くなき情熱と人々の生命に貢献するという揺るぎない信念を持ち、世界中の人々がより健康で明るく過ごせる新たな230年を切り拓いていきます。

Our Business  
**Committed to  
Improving Health**

すべては人々の健康のために

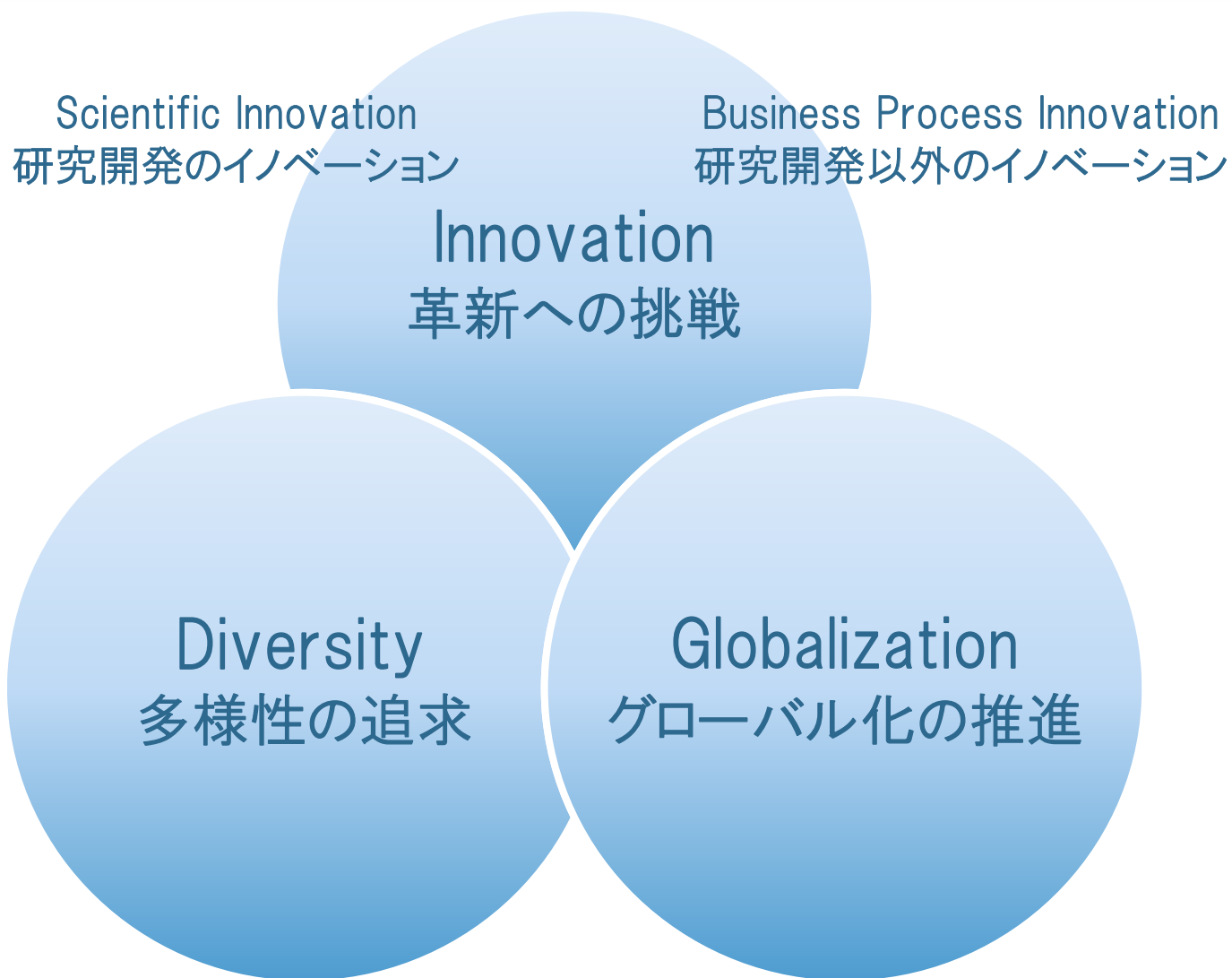
Our Organization  
**Strength  
from Diversity**

ダイバーシティを力に

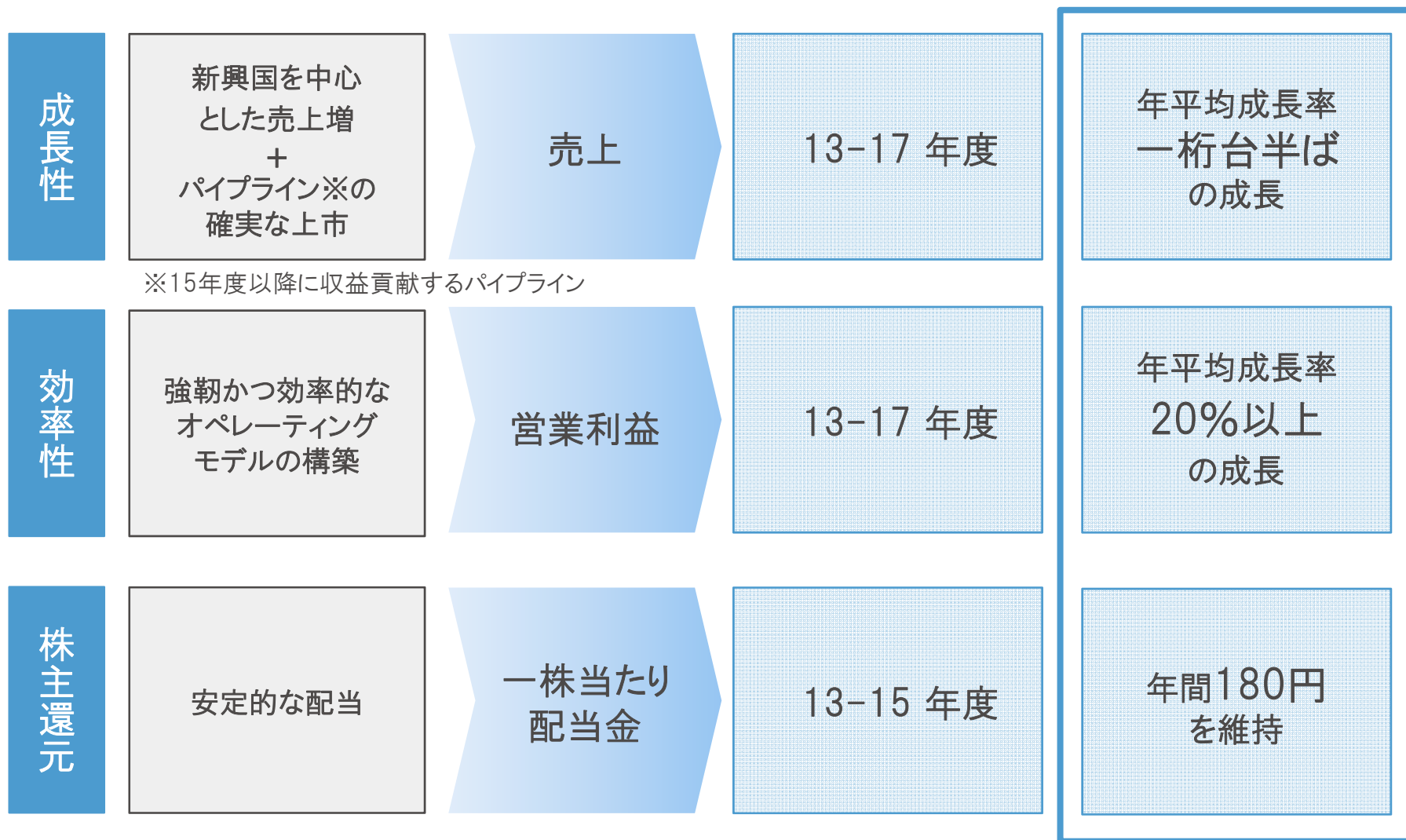
Our People  
**Powered  
by Passion**

情熱を原動力に

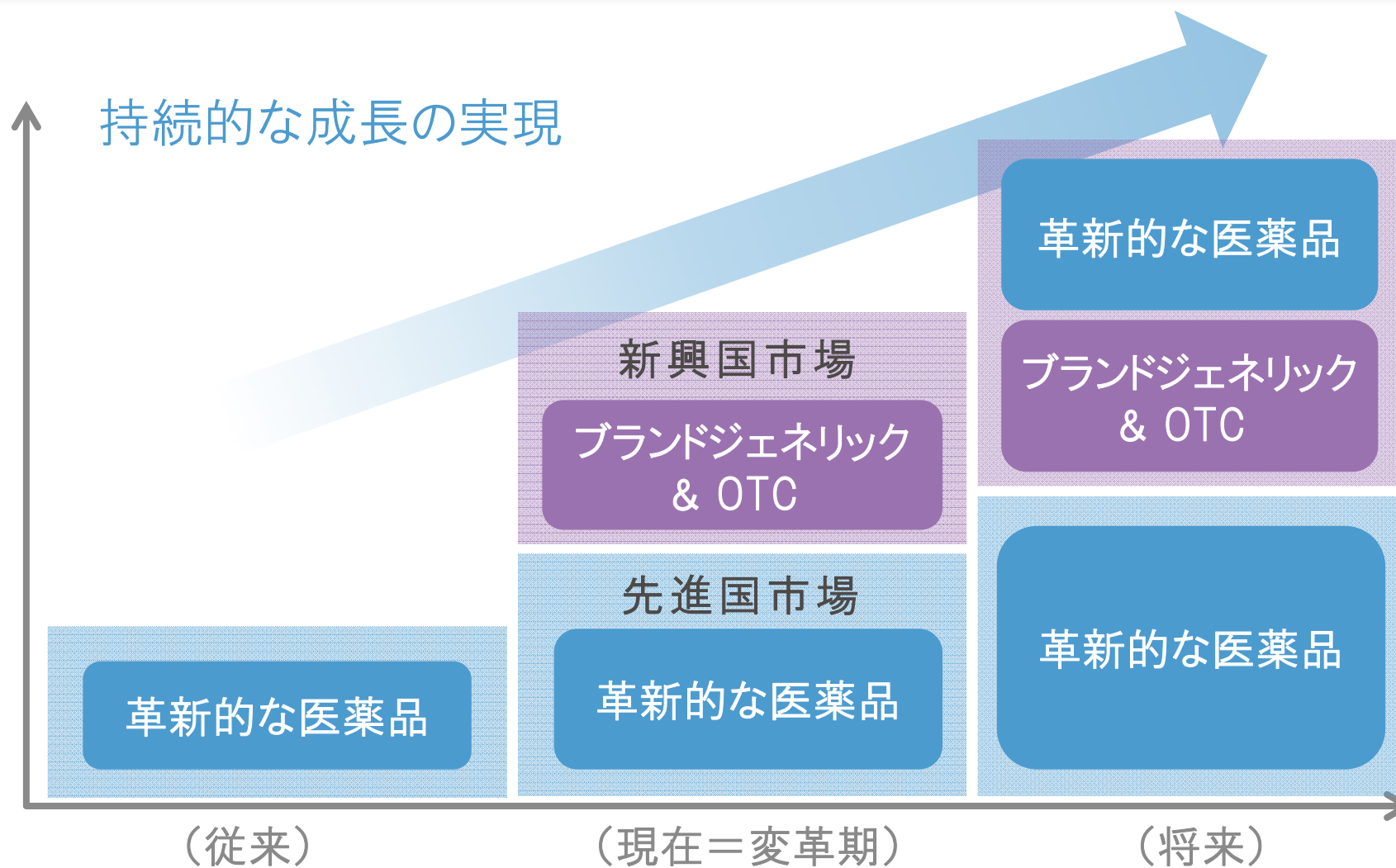
# 中期成長戦略の方針



# 中期成長戦略の持続的成長目標



# Globalization(グローバル化の推進)の中期成長戦略



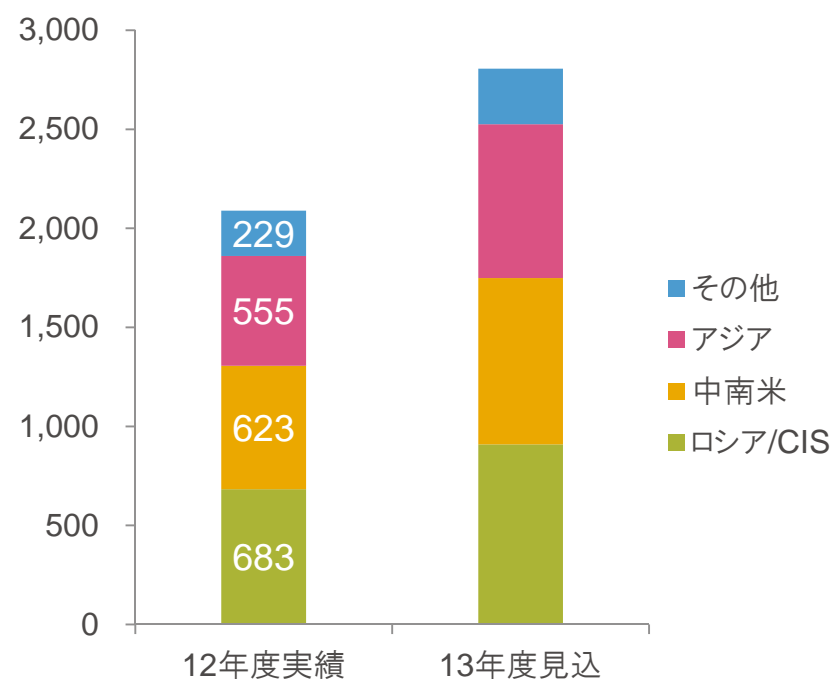
# 新興国市場における中期成長戦略



- 市場ニーズに合致した多数の新製品の上市と市場浸透を着実に推進
- 投資効率を追求した販売戦略を実行し市場を上回る売上成長を引き続き実現
- 収益性を改善して全社を牽引

年平均成長率 2013-2017	
当社 15%以上	
市場 11%	
	25%以上 医薬品の流通・販売経路の新たな仕組みを確立
	13%以上 経済成長が著しい地方都市の競争力を強化
	13%以上 市場ニーズに合致した製品構成を実現

単位:億円 【医療用医薬品】製商品売上高





# 日本市場における中期成長戦略

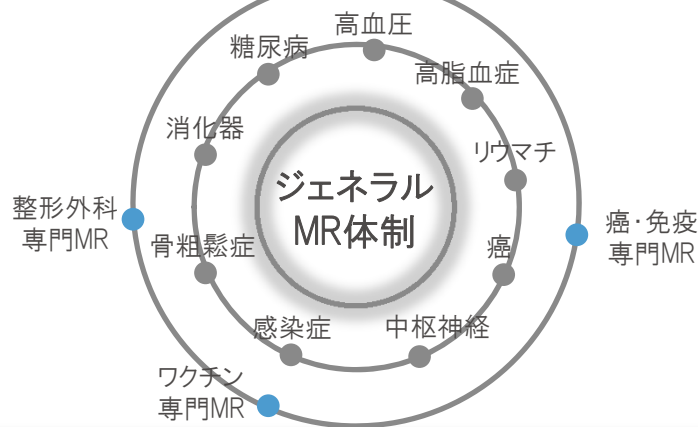


## 国内シェアNo.1の堅持

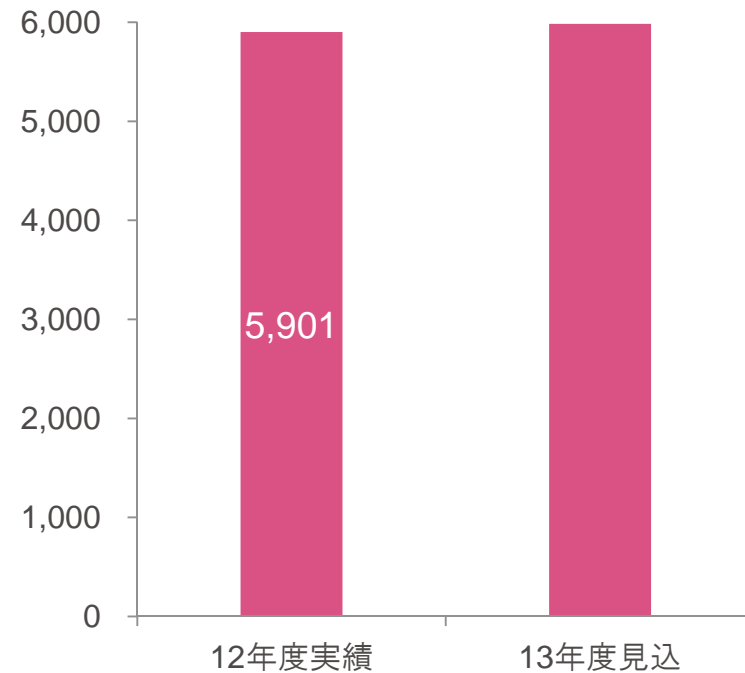
- 新製品の早期売上最大化(ネシーナ、アジルバ、ロトリガ)
- タケダの強みを活かした販売体制の構築、充実したパイプラインによる成長の加速
- 大学・研究機関、他社との連携の強化

年平均成長率 2013-2017
当社 約1%
市場 0%

### ハイブリッドMR体制



単位:億円 【医療用医薬品】製商品売上高



# 米国市場における中期成長戦略



## 領域フランチャイズの強化

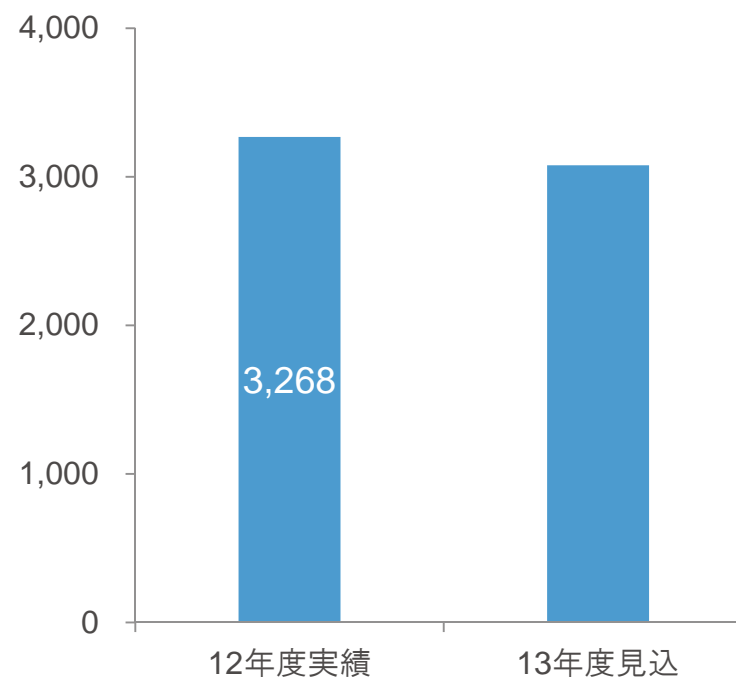
- ネシーナ、ユーロリック、コルクリス、デクスラント、ベルケイドの売上伸長
- TAK-875、MLN0002、MLN9708等の上市を視野に入れた販売体制構築

年平均成長率 2013-2017
当社 12%以上
市場 3%

### 製品ポートフォリオの充実(主な既存品と今後の新製品)

代謝性疾患	中枢神経系疾患	消化器系疾患	癌
ネシーナ ユーロリック コルクリス コントレイブ TAK-875	ロゼレム LuAA21004	デクスラント アミティーザ MLN0002	ベルケイド TAK-700 MLN9708 MLN8237

単位:億円 【医療用医薬品】製商品売上高



# 欧州市場における中期成長戦略

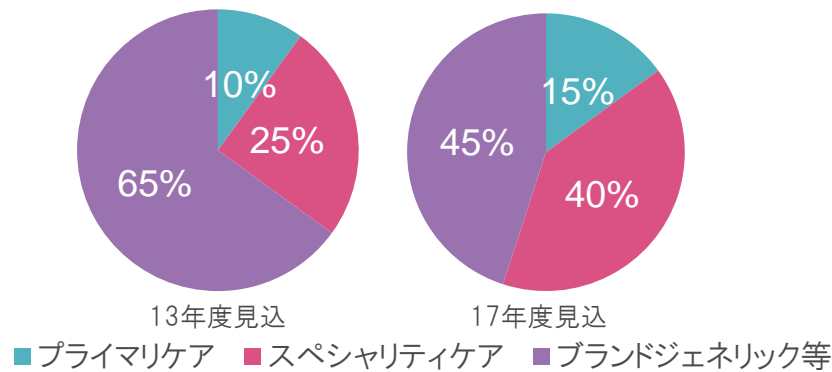


## プライマリケア事業とスペシャリティ事業の強化

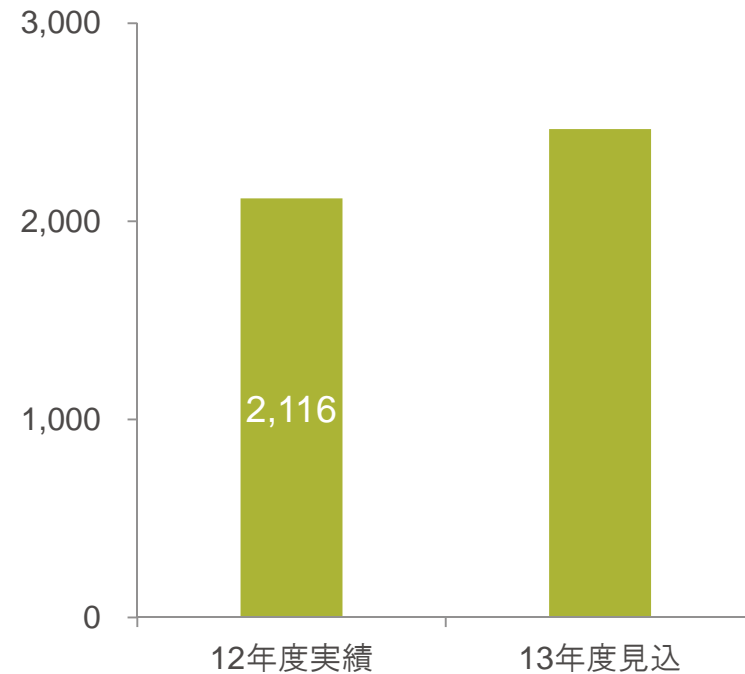
- パントプラゾールなどブランドジェネリックの売上維持・拡大
- ナイcomed社統合後の高収益化を実現

年平均成長率 2013-2017
当社 4%以上
市場 1%

欧州領域別売上高比率



単位:億円 【医療用医薬品】製商品売上高



# Innovation(研究開発のイノベーション)の中期成長戦略



## 6つの重点領域

代謝性・循環器系疾患

癌

中枢神経系疾患

免疫・呼吸器系疾患

消化器・腎臓系・  
その他疾患

ワクチン

- 6つの重点領域において、医療ニーズが未だ満たされない疾患の研究開発を推進し、競争力あるパイプラインを構築
- 臨床開発期間の短縮、化合物の応用機会の追求、外部リソースの専門性活用などを通じて創薬研究の生産性を向上



# 主なパイプラインの承認時期の見通し



		13年度	14年度	15年度	16-17年度
LuAA21004	大うつ病	→★			
ルラシドン	統合失調症	→★			
ATL-962	肥満症	→★			
MLN0002	潰瘍性大腸炎 クローン病	→★			
TAK-700	前立腺癌	→★			
TAK-438	酸関連疾患	→★			
SYR-472	糖尿病	→★			
TAK-816	Hib感染症予防	→★			
MLN8237	血液癌および 固形癌	→★			
TAK-875	糖尿病	→★			
MLN9708	血液癌	→★			
TAK-385	子宮内膜症および 子宮筋腫	→★			

# Innovation(研究開発以外のイノベーション)の中期成長戦略 強靱かつ効率的なオペレーティングモデルの構築



販売	製品戦略の立案・販売活動の支援を グローバルで統一
製造	旧ナイcomed社の インフラ・機能の有効活用
研究開発	各拠点の効率性を追求 最適な投資を継続
一般管理	グローバルで効率的な 管理機能・プロセスを構築

累計の  
経費削減目標

15年度までに  
>800億円  
17年度までに  
>1,000億円

欧米において  
本業の収益力を  
示す指標である  
「コアアーニングス」  
売上高比率を  
17年度までに

**25%**

13年度見込  
17.6%

# 2013年度 連結業績の見通し



単位:億円

	2012年度 (実績)	2013年度 (見込)	対前年度	
売上高	15,573	16,800	+1,227	+7.9%
研究開発費	3,243	3,400	+157	+4.8%
営業利益	1,225	1,400	+175	+14.3%
経常利益	1,132	1,250	+118	+10.5%
当期純利益	1,312	950	△362	△27.6%

# 国際財務報告基準(IFRS)の任意適用



## 2013年度末の連結決算からIFRSを任意適用

- 各国同業他社との財務情報の比較可能性の向上
- グループ内会計基準の統一による財務情報の均質化
- 資金調達の選択肢の拡大

単位:億円

	2013年度 (見込) 日本基準	2013年度 (見込) IFRS	差額
売上高	16,800	16,800	—
研究開発費	3,400	3,450	+50
営業利益	1,400	1,600	+200
当期純利益	950	1,200	+250

のれんの非償却化等  
の影響により  
200億円の改善



# 企業の社会的責任(CSR)に関する取り組み



● 「京都薬用植物園」開設

1933

1963

● 「武田科学振興財団」設立

● 「国連グローバル・コンパクト」に参加  
/CSR専任組織の設置



2009

2010

● 「タケダ・イニシアティブ」開始

● 「日本を元気に・復興支援」



2011

# タケダの企業市民活動



「タケダ・イニシアティブ」  
アフリカにおける  
三大感染症対策の支援



東日本大震災による  
被災地への継続的な支援



「タケダ-Plan 保健医療  
アクセス・プログラム」  
アジアの子どもたちの  
保健医療アクセスの  
向上支援

# 将来見通しに関する注意事項



本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

***Better Health, Brighter Future***



武田薬品工業株式会社